

シャルトルから高松に（日仏自治体交流会議）

「ヌ ブ ザ タ ン ド ン ア タ カ マ ツ ア ン ノ ト ン ス ド ユー ミ ル キ ャ トー ホ ヌ
Nous vous attendons à Takamatus, en automne 2014.」（2014年秋に、高松でまたお会いしましょう）

8月末、第3回の日仏自治体交流会議が開催された、フランスで最も美しいとも言われる世界遺産の大聖堂を持つシャルトル市の劇場の舞台から、次期開催地の市長として挨拶をしてきました。併せてビデオで栗林公園、松盆栽、現代アートなど、高松の魅力を紹介して、多くのフランスの関係者から「素晴らしい。是非行きたい。」と大変好意的な言葉をかけてもらいました。

この日仏自治体交流会議は、日仏修好通商条約締結150周年を記念して、2008年10月に、第1回がナンシー市で開催されました。2010年5月に金沢市で第2回が、そして今回、第3回がシャルトル市で開催されました。日本とフランスで姉妹都市提携を結んでいる自治体の首長や幹部が一堂に会して、両国の地方分権の推進のために地方自治の状況を理解し合い、課題を持ち寄り議論するという、かつてない画期的な国際会議です。

フランスと言えば、多くの日本人が憧れる文化芸術の国。また、食料自給率120%、世界第2位の農業大国であり、フランス料理で知られる食文化が豊かです。さらに、女性の社会進出が盛んで、先進国でいち早く出生率2.0を回復しています。日本が見習うべき点が多いと思っていますが、フランスから見ても、日本は非常に魅力的に映るようです。例えば、日本のマンガ・アニメの人気は非常に高く、寿司などの和食もブームになっています。

高松市の紹介の最後に、「海辺のカフカの舞台は高松です。高松に来るとカフカ少年に会えるかもしれません。」と案内すると、その反応は予想以上のものでした。村上春樹氏の作品はフランスでも非常に人気があり、多くの人に読まれているのです。

日仏間には、お互いに心を通じ合える文化的な共通言語が多くあるように思えます。それを大切にしながら、姉妹都市であるトゥール市や関係機関と協力して準備を整え、2年後の秋の高松での交流会議を是非成功させたいと考えています。